

6/16開催 第1回運営委員会 報告



6月16日郡山市総合福祉センターを会場に、今年度第一回目となる、福島支部運営委員会が開催されました。

現在、福島支部の会員数は39会員。今回の運営委員会には、21会員30名以上の方が出席しました。

事務局より全国会議と障がい者施策をめぐる最新動向の報告。また賛助会員の取り組み状況・夏の商品販売の斡旋と試食会が行なわれ、今運営委員会の重要案件である2013年きょうされん全国大会福島開催について協議しました。

全国大会の具体的な内容については、今後実行委員会を立ち上げ、進めていきます。全国大会というこれま

で経験したことのない大きな大会ですが、各会員が実行委員として参加し、企画をすすめて大会を盛り上げる。震災から2年たった福島の・東北の現状を伝え、そして何よりも来てくれた方々が楽しめる大会にしよう。この大会が成功するように会員一丸となって取り組むことを確認しました。



7/21~22 福島支部新任・中堅職員研修 開催



7月21・22の2日間、支部主催の新任・中堅職員研修が磐梯熱海清稜山倶楽部にて開催されました。

仕事を始めて1ヶ月にならない方からベテランまで、19会員から40名以上が参加しました。

毎年行なわれる新任・中堅研修のテーマは、今困っていることを少しでも解決できるようになること。また、研修が終わったあと、また明日からがんばるぞという気持ちになれることです。

今回の研修では、震災から1年。頑張って働き続けてちょっと疲れが出てきたなあ。と感じることも多くなってきたのではないかと。ということで、もう一度これまでの福島を振り返り、困難な状況でも前を向いて働き続けることの大切さを、若い職員さんにも伝え、みんなで一緒に考え、共に前へ進むための内容としました。

1日目

- 講演「2011.3.11 障がいのある人に何がおこったのか」
～その事実と支援の取り組み～
JDF被災地障がい者支援センターふくしま事務局長和田さんより、震災後支援センターふくしまを中心に、どのような取り組みをしてきたのか、福島状況について報告していただきました。
- 報告「震災後の困難」
～働く・暮らす・支える～
3つのテーマを、現場で働く職員がレポーターとなり報告しました。
働く：郡山「にんじん舎」から山浦幸喜さんに、震災によって働くことがどう変化したのか、にんじん舎の取り組み報告。
暮らす：南相馬「あさがお」の森さんより、震災後グループホームのメンバーと避難を続け、再開に至った経緯と現状の報告。
支える：いわき「スペースけやき」古市さんから、警戒区域となった楢葉からの避難・いわき市内で再開した経緯や障がいをもつ仲間を支えることについての報告。
- 「きょうされんの被災地支援」
きょうされんが震災直後から被災3県をどのように支援しているのか、事務局穴沢さんより説明。
- ナイトゼミナール
～きょうされんのなりたち 福島支部のなりたち わたしのなりたち～
(なりたち大会)
きょうされんや支部って何だろう？わたしがこの仕事をはじめたのは？
など、交流をかねて勉強会。



レポーターのみなさん
貴重な報告ありがとうございました！

2日目

- ワークショップⅠ・Ⅱ
＜知って・決めて・とりくむ＞
現状把握・これからやりたいこと・そのためにどうするか？
グループに分かれ、実際にどのように進めたらよいかをワークショップ形式で学習
- 「きょうされん全国大会にむけて」
きょうされん事務局 多田事務局長より、2日間の研修についての感想、今後の取り組みについてお話をいただく。

全国から応援

JDF被災地障がい者支援センターふくしまでは、県からの委託事業で、南相馬への支援員派遣調整や県内福祉事業所のニーズ調査や仕事をつなぐため、「福島県福祉・介護職員マッチング事業」をしています。マッチング事業には県外から多くの支援員がきてくれています。今回、きょうされん北海道支部の会員作業所「くしろわんこ」から出向していただいた梅野さんよりメッセージをいただきました。

きょうされん北海道支部からJDFに出向し、JDF被災地障がい者支援センターふくしまでお世話になりました梅野豊です。

第一回目は今年の2月12日から3月14日、第二回目が6月7日から6月28日の期間で、福島県福祉・介護職員マッチング事業の担当支援員として、コーディネーターである和田支部長から必要な支援についての指示を受けながらの活動でした。

具体的な業務内容としては福島県内の作業所・施設へ郵送での現況調査、郵送調査で緊急性が高いと判断した事業所への訪問調査、それぞれの調査による困難課題に対する支援の実施となっております。

福島県福祉・介護マッチング事業自体は、福島県内の福祉介護人材不足の解消が事業目的となつていますが、私が訪問させて頂いた17か所の事業所では、人材不足だけでなく、事業所建物の損壊、授産製品の販路減少、放射能関連による被害など、さまざまな困難がありました。その課題解決のためには、担当事業だけでなくJDF全体として、

また他の福島県事業受託団体ともしっかりと連携をしていかなければならないことを感じました。

また、お忙しい中、訪問調査にご協力を頂きました皆さまにこの場をお借りして感謝申し上げます。

出向期間中、きょうされん福島支部運営委員会、中通のブロック会議にそれぞれ1回参加させて頂きました。知る人がいない福島県で少し心細い時に、「きょうされん会員さんだよ」と聞くとなんとなく身近に思えました。それはきっと、きょうされん会員として活動している作業所、そこで働く人の想いは同じだと感じたからだと思えます。

福島支部の「きょうされん自販機設置全国1位」「署名目標達成」、そして、「平成25年度全国大会開催」など、私も北海道支部の一員としてもっともっと活動をひろげていかなければならないと、前に進む力をもらいました。ありがとうございます。

福島県の夏は暑いとお聞きしていますので、お身体を大切にして下さい。北海道の中



梅野さん（左下）と県外派遣コーディネーターの福岡支部古賀さん（中央） 福島支部長和田さん

応援
ありがとうございます！

でも、私が住んでいる釧路地域は8月の平均気温が18℃と、とても涼しい場所です。避暑にいらつしやる際はお気軽にお声をかけてください。

JDF被災地障がい者支援センターふくしまへは、今年度末まで全国のきょうされん会員作業所から1ヶ月の期間交替でマッチング事業担当支援員が出向する予定となっております。

3回目のお誘いに期待を込めて：。

「きょうされんはひとつ」ともに頑張っていきたいよう。

くしろわんこ
管理者 梅野 豊

2013きょうされん全国大会 7/28 第1回実行委員会準備会 開催



7月28日 いよいよ『2013きょうされん全国大会福島』の準備が始まりました。きょうされん本部、東北ブロックの各県代表者と福島支部会員が集結し、1回目の会議を開催しました。実行委員長が決定していないため、準備会という形式での開催となりましたが、旅行代理店を含め30名が参加し、大会骨子について検討しました。



2012きょうされん全国大会 福井大会視察へ行ってきます！

全国大会はどんな風に運営されているのか？全く経験がないため、支部役員や福島大会で各セクションの責任者となる会員さんを中心に、今年9月29日・30日に開催される福井での全国大会に参加し、勉強して行くことになりました。当日早朝出発の、翌日夜帰着。ハードスケジュールですが、しっかり見学し、福島大会につなげたいと思います。